

イチゴのハダニ類に有効な薬剤

安全農業研究所

イチゴ栽培において、ハダニ類による被害は大きく、多発すると防除が困難となる。近年、一部の登録薬剤に対し防除効果が低下している事例が見受けられたので、県内の4圃場から採集したハダニ類の薬剤感受性検定を実施し、有効な薬剤を明らかにしたので紹介する。

【普及したい技術のポイント】

マイトコーネフロアブル、アフーム乳剤の殺虫効果は概ね高く、コロマイト水和剤、コテツフロアブルでは、殺虫効果が認められた。

ロディー乳剤、アーデント水和剤、オサダン水和剤、ピラニカEW、サンマイトフロアブル、マイトクリーン水和剤、ニッソラン水和剤の殺虫効果は低く、実用的防除効果が見込めない状況であった。

同一系統薬剤を連用すると薬剤抵抗性を獲得するので、系統の異なる薬剤によるローテーション散布を行う。その他系統に区分された薬剤は、それぞれ異なる系統と考えて良い。

個体群により殺虫効果が異なるので、散布後に防除効果を確認し、残存虫が見られるときは薬剤を変更する。

マイトコーネフロアブルは、カブリダニ類に対する影響が少ないので、カブリダニ類等を利用した総合防除を実施している場合は、本圃で利用する。

表1 ハダニ類雌成虫に対する殺虫効果（薬剤処理48時間後の死虫率）

供試薬剤	系統	濃度	採集場所および死虫率（%）			
			九重町	竹田市	佐伯市	中津市
アフーム乳剤	マコライド [*]	2000	100	100	97.7	86.7
コロマイト水和剤	マコライド [*]	2000	64.7	68.9	64.3	27.3
ロディー乳剤	合成ピレスロイド [*]	2000	2.2	0	2.2	2.2
アーデント水和剤	合成ピレスロイド [*]	1000	6.7	6.7	4.6	2.2
マイトコーネフロアブル	その他	1000	90.7	91.1	38.6	100
コテツフロアブル	"	2000	66.7	66.6	21.1	17.8
オサダン水和剤	"	2000	0	4.4	4.5	2.2
ピラニカEW	"	2000	2.2	2.2	6.7	2.2
サンマイトフロアブル	"	1000	2.9	6.7	2.2	4.4
マイトクリーン水和剤	"	2000	2.2	18.1	7.0	0
ニッソラン水和剤（殺卵効果）	"	2000	14.3	-	6.3	10.5
無処理		-	0	0	0	0

注）ニッソラン水和剤は、薬剤処理7日後の未ふ化率